

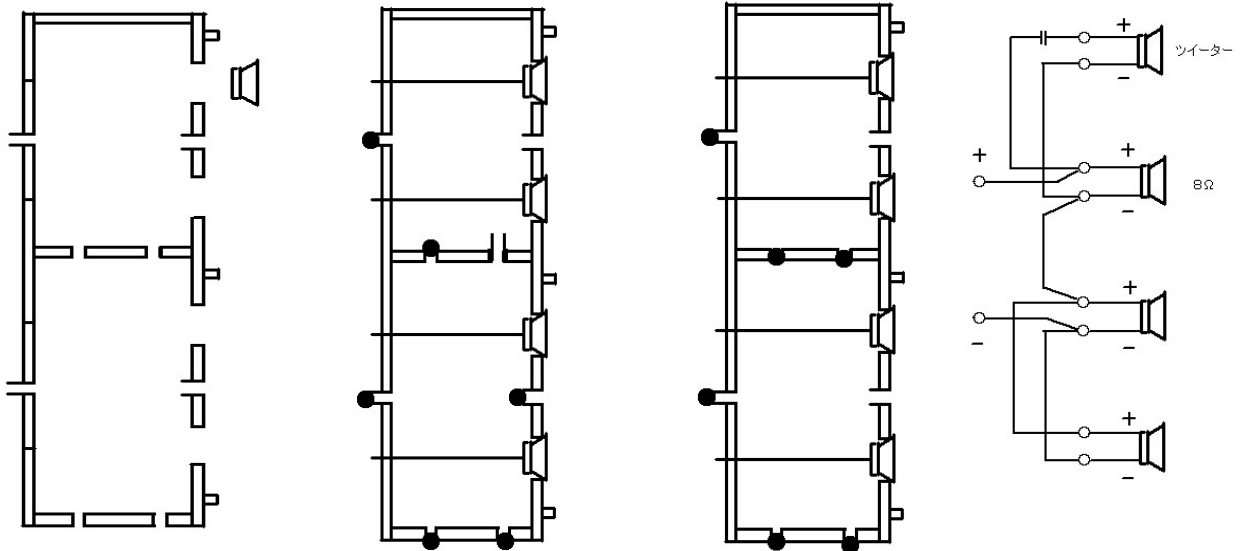
1. 300円x2x2

2013年10月13日第4回オフ会発表作品

2013年10月13日 大沢博多

1個300円のフォスター製ジャンクユニット8個でトールボーイを作りました。

10cmフルレンジを4発ずつ装着する箱で、内部の上下間仕切りと、ゴム栓による前後、底面のポート穴の切り替えにより、さまざまなスタイル音の違いを楽しめます。



基本構造

ドロンコーンダブルバスレフ(構成例)

今回の構成

ユニットの接続

上側の容積はおよそ11リッター、下は13リッターで間仕切りの穴は3個2列、6個あいています。上下空気室のバスレフポートはそれぞれ前面、背面に開口され、そのどちらか、または密閉が選択できます。また、底面も開口してあるので下側空気室はポートを床面にも向けられます。

上下間仕切りとバスレフポートの選択はゴム栓で行います。

上下間仕切りを貫通させれば4発のトールボーイ、仕切れれば2部屋のスタッガード、ポートをつけるとダブルバスレフへ発展します。その場合下側空気室のユニットはパッシブラジエーターにもできます。

本日は上図今回の構成の、上下スタッガードの前面バスレフで聞きます。

一番上のユニットはセンターキャップのソフトドーム部分を瞬間接着剤で硬化し、ツイーター化しました。

2番目ユニットの背圧を避けるために金属テープでフレーム背面をシールしています。

3番目と4番目はスポンジテープでセンターキャップをミュートし、ウーハー化しています。

また4番目はコーン裏側にアルミテープを貼って振動系を重くしています。

ユニットはすべてキャンセルマグネットで防磁し、解像力をあげています。

ユニットの取り付けはねじを使用しない、フレームをS金具で、マグネットセンターから長ねじで背面バッフルへ引っ張り取り付けとしました。これにより

1. 前バッフルとユニットあたり面が均一に取り付く。
 2. 前後バッフル板をユニットフレームを介して接続するのでユニットポールピースがエンクロージャー空気室内の定位置に固定される。
 3. ユニットフレームの強度、エンクロージャーの前後バッフル強度を補強する。
- のような効果を期待します。